

このプロジェクトについて

○日本三大秘境と言われる宮崎県椎葉村で、「かてりりの里」としておたがいさまの精神が息づく「川の口集落」に、都会と田舎をつなぐ懸け橋となるコンセプト型シェアハウスを作ります。

○移住コーディネーターとして、椎葉村への移住を推進する中で、住む家が足りないことを実感してきました。住むところがなければそもそも移住はできないので、住宅の確保は隠れた課題です。そこで思いついたのが、「シェアハウス」という住み方。椎葉村は、物件のほとんどが一軒家なので、一軒当たりの居住人数を最大化すれば限られた空き家の歩留まりも良くなるというわけです。

さらにひらめいたのが「コンセプト型」と呼ばれる、共通点を持った人が集まるシェアハウスにすることです。都会から田舎に移住するに当たって問題となるのは、家・仕事・人間関係の三つで、これは椎葉村でも例外ではありません。せっかくなら、三つを一挙に解決できるシェアハウスにしたい・・・そんな考えからたどりついたのが「自給自足」というコンセプトでした。

○自給自足とは、言わば暮らしを仕事にするライフスタイル。お金を稼ぐことに追われる都会の人が田舎暮らしに抱くイメージとして根強く、ひそかに憧れる人が世代を問わず多いのが特徴です。実を言つと自分もその一人で、椎葉村で自分が考える自給自足を実践しようとする村にやってきました。とは言え、自給自足という言葉には何かとネガティブなイメージを持たれがちなのも事実。強いられるのではなく選び取るもの、という意味も含めて、少し呼び方を変えています。

○住宅不足という椎葉村が抱える課題を解決しながら、都会から移住する理由となり得る魅力を持つ家。地域の空き家が、そんなシェアハウスに生まれ変わったら、どんな化学反応が起きるのか。赤の他人同士がひとつのコンセプトの下に集まり、集落の先輩たちの力を借りながら自分たちの暮らしを作り上げていく。そこには地縁や血縁を超えた、最先端の「家族」の姿が浮かび上がります。

舞台となるのは、一五年以上人が住んでいない状態でありながらも、集落営農の拠点として人が集まる「でえらの家」。衣食住はもちろん、エネルギーや医療、教育やアートも暮らしに必要なものとして自給する家をつくりたい。そこから、暮らし方の新しい選択肢を示すことが長期的な目標です。

椎葉村移住コーディネーター 村上 健太

○ スケジュールについて (変更の可能性有り)

▼ キックオフミーティング 2018年6月29日(金)～7月1日(日) 2泊3日

6/29(金)	夜	参加者、村民、関係者との大交流会
6/30(土)	AM	合同ミーティング、活動の上でのレクチャー
	PM	「でえらの家」見学、おさんぽツアー@川の口集落
	夜	自給自足を語り尽くす会
7/1(日)	AM	「暮らしを自給する家」設計ミーティング

→昼食後、解散

・オンライン上での活動

→チャットワーク等のツールを使い、定期的にミーティングを重ねます

・現地活動

→集落営農の活動予定も考慮して、現地での活動を1～2回程度行います

▼ 発表会 2019年2月末予定

→活動した内容や今後の展開について、一般公開の場で発表します

○ 参加者の募集について

コンセプト型シェアハウス「自給自足2.0」の立上げメンバーを募集します。完成後のシェアハウスへの入居は優先されますが、必須ではありません。

応募条件は以下の通りです。(詳細は別紙募集要項をご確認ください)

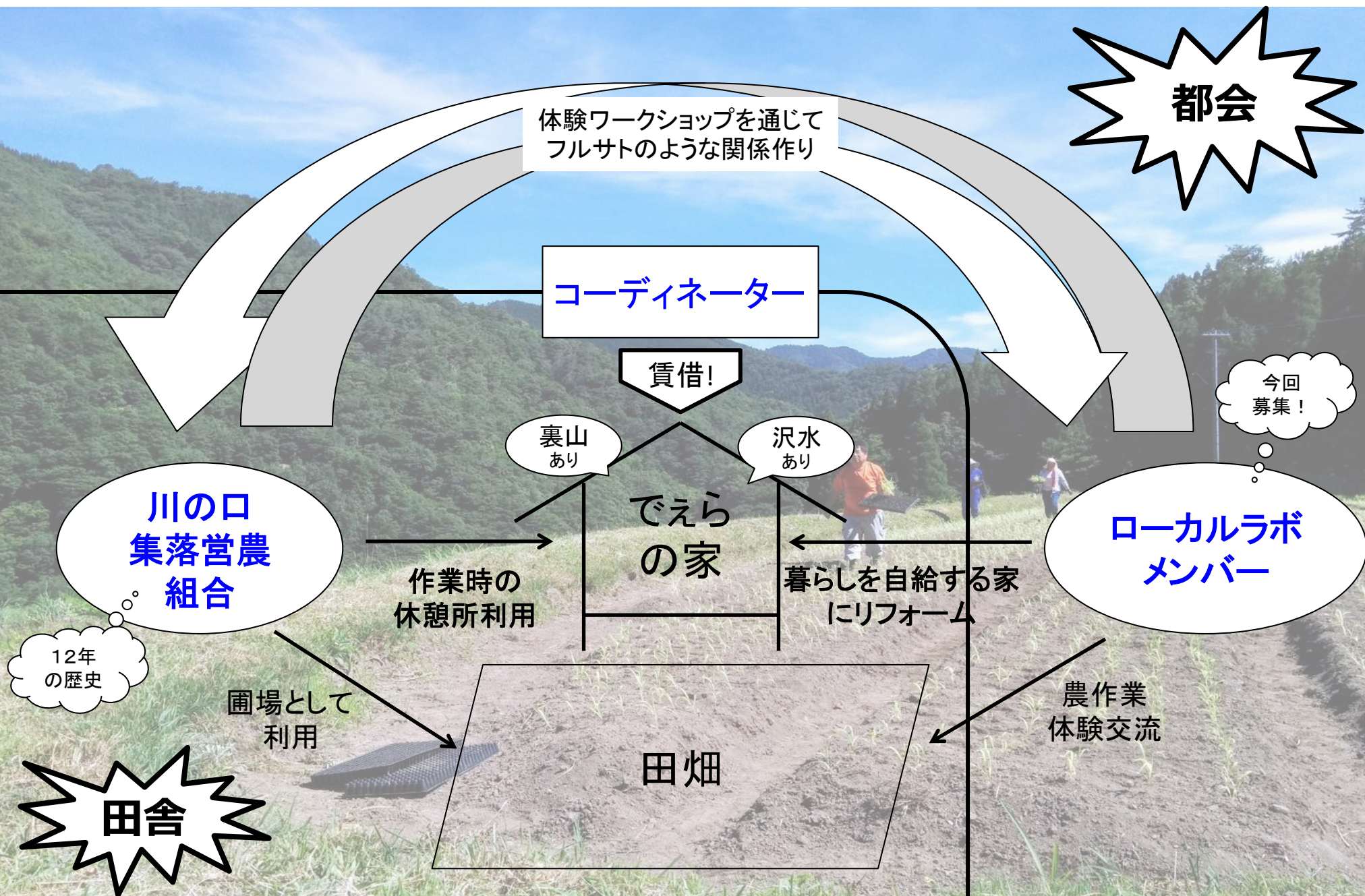
- ・「自給自足」について自分なりの考えとイメージを持っていること
- ・自給自足の暮らしを実践している、あるいはその意志があること

静かでも構いません。意欲と熱意にあふれる方のご応募をお待ちしています。

○ 費用について

参加費は無料です。現地活動のための旅費(交通費・宿泊費)については、¥15,000/回を超える分は補助されます。

※但し回数に制限があります。詳細はお問合わせください。



2018年度はココから！

STEP 1 : 構想を練り、下地をつくる

【考える／夢と理想を整理する】

- ・ どうして「自給自足」がいいのか？
- ・ 「自給自足2.0」とは何か？
- ・ 「暮らしを自給する家」を設計する

【手を動かす／暮らしを体感する】

- ・ 集落営農の活動に参加（畑仕事など）
- ・ 暮らし体験ワークショップ
（例：山暮らしに欠かせない「水遣り」のイロハ）
- ・ 秘境暮らしの楽しみ方
（例：満月の輝き、新月の星空、薪のお風呂など）

【知る／集落の人と交流する】

- ・ 川の口集落の呑み方に参加
（例：椎葉の通過儀礼“サカズキ”を体験！）
- ・ おさんぽツアー@川の口集落
（例：湧き水、庭園、清流めぐり）
- ・ 歴史を紐解いてみる
- ・ 集落の暮らしをPVにまとめる

STEP 2 : 資金を調達して、施工する

- ・ 体験から実践へ
- ・ お金を自給するには？
- ・ 材と工具と人の手と
- ・ 「はたらく家」のつくりかた
- ・ お任せよりも、寄ってたかってつくる
- ・ 「開かれた家」への筋道

STEP 3 : 暮らしをつくる

- ・ 自給自足2.0を実践するシェアハウス
- ・ 「住人」というより「住まい手」
- ・ 暮らしを仕事にしていく
- ・ 幸せの在り処 ～僕らの幸福論～
- ・ 「暮らしをつくる」の先にあるもの
- ・ 都会と田舎の分断を食い止めるには？